



八木 修

① 確かな学力と学び直し ② 第3次能勢町 子ども・子育て支援事業計画

問 確かな学力と学び直しについて

答 子どもの学力は保護者の所得や学歴と一定の相関関係があると言われているが、教育長の認識を問う。

問 一定の相関関係があると考える。

問 能勢町の過疎地域持続発展計画に、保護者の経済状況は府下でも低い状況にあると示しているが。

答 2024(R6)年にまとめられた生活実態調査では、府下でも低い状況にあると認識している。

問 保護者の経済状況と学歴の問題は、今に始まったことではない。

1969(S44)年に成立した同和対策事業特別措置法とは。



答 児童生徒の学力向上の必要性から教員の加配配置が取られた。能勢町も1972(S47)年に、能勢町同和対策審議会答申の中で、基礎学力の向上として学級編成基準の引き下げと複数担任制に見合う教員の加配が取られた。

問 子どもの学力と保護者の経済状況の関係は

答 子どもの学力と保護者の経済状況の関係は2024(R6)年の生活実態調査以前から分かっていた。教育長の認識を問う。

答 私も同じような認識を持っている。今後学力向上に向けての学力保障を進める。

問 第3次子ども・子育て支援事業計画について

答 この事業は能勢町で生まれ育ち、能勢町で子育てしたいと思えるまちづくりを基本理念とし、福祉と教育の連携を示しているが。

問 この事業は18歳までの切れ目のない支援の仕組みを構築している。

問 町長が教育に関わる形として総合教育会議が設けられているが。

答 教育行政の独立制から細かいところまでは入っていけないが、町長の考えが必要なので、総合教育会議で述べている。

一般質問



難波 希美子

① 家庭用充電電池の取扱い ② 公共施設のトイレ ③ 企業誘致

問 家庭用充電電池の取扱い

答 ごみ集積場で充電電池の熱や水による発火事故の例があるが、考えを問う。

答 今後、焼却場の担当者会議で協議をしていく。

問 正しい分別のためのごみ辞典は有効と考える。本町ホームページのごみ辞典は、外国語変換ができないが、豊能町は変換が出来る。参考にできないか問う。

答 参考にした。

問 公共施設のトイレ

答 フリー化対策を問う。

答 法令に準じている。香害は申し出により可能な範囲で対処している。

問 トイレの防犯対策を問う。

答 職員共用の実施や緊急ボタン設置をしている。

問 企業誘致

答 企業立地促進条例では町民の正規雇用を促しているが、一昨年、天王に町が誘致した企業の町民の雇用状況はどうかを問う。

答 正規0人、非正規5人である。

問 宿野四区・大里・柏原地区の企業誘致での面談の進捗よく状況を問う。

答 現在約86%の方と面談済みである。



答 その指摘も解るが産業化にも理解を願う。